
第9回アジア証券人フォーラムについて

日証協・平 16. 1. 28～30

アジア証券人フォーラム(ASF: Asia Securities Forum)が、去る 1 月 28 日から 30 日に、インドネシア共和国バリ島において開催された。

本フォーラムは、日本証券業協会の提唱により、アジア・オセアニア地域の証券界の指導的業界人が一堂に会し、同地域における証券界の交流と証券市場の発展に寄与することを目的に、1995 年に発足したものである。現在も当協会は、常任事務局としてフォーラムの運営に積極的に関わっている。

過去の開催は、第一回東京、第二回韓国、第三回フィリピン、第四回神戸、第五回台湾、第六回東京、第七回バンコク、第八回北京である。

以下に、今回のフォーラムの概要報告として、「第九回アジア証券人フォーラムの概要」を掲載する。

アジア証券人フォーラムの概要

1. 開催日時 自 平成 16 年 1 月 28 日 (水)
 至 平成 16 年 1 月 30 日 (金)
2. 開催場所 インドネシア共和国 バリ島 デンパサール
 グラント・ハイアット・バリ
3. 主催者 インドネシア証券会社協会
 (Association of Indonesian Securities Companies)
4. 参加者 中国 香港 インドネシア 日本 韓国 マレーシア フィリピン
 タイの 8 か国の 8 団体からの 31 名である
5. 主テーマ アジア資本市場の自信回復
6. 内容 会議の初日は、主催者であるインドネシア証券会社協会アヴィ会長のあいさつ後、インドネシア資本市場管理庁(BAPEPAM)のヘルウィダヤトモ会長による基調講演に続き、各国の経済・証券市場の報告など ASF メンバー間の意見交換とパネル・ディスカッションが行われた。
 二日目は、「2004 年の投資と経済展望」とのテーマでセミナーが開催され、ブディオノ大蔵大臣による基調講演に続いて、招待された外部のゲスト・スピーカーによるプレゼンテーションと意見交換が行なわれた。

【1 日目】

(1) 基調講演

ヘルウィダヤトモ会長は、インドネシアにおける金融市場改革を含め、アジア各国の金融市場は着実に改革を進めているが、まだ取り組むべき課題も多く、近隣国の成功例から学ぶことが重要である。こうした観点から、このフォーラムは相互理解と ASF メンバー各国間の情報交換を進める重要な役割を持っていることなどを話した。

(2) アジア債券市場について

越田会長から、「アジア債券市場創設の動きが高まっているが、今後 ASF のような場においても議論があれば、積極的に参加したい。」旨の発言があった。

(3) 各国証券市場の報告

各国の経済金融情勢と証券市場の状況が各国の代表から報告された。各国経済がアジア通貨危機から立ち直り、回復基調に乗りつつあることが紹介された。我が国については、越田会長が 2003 年の日本経済の概況と金融市場動向を報告した。

(4) パネル・ディスカッション

・ 外務員のコンプライアンス

プレゼンター 日本証券業協会

コメンテーター インドネシア証券会社協会

外務員資格試験の見直し、資格更新研修の導入など日本がこれまで取り組んできたコンプライアンス強化策を紹介した。インドネシアからは、外務員数の増加を背景として、外務員資格に関する規制を見直すとともに、資本市場管理庁の市場規制体制の強化策が紹介された。質疑応答では、日本の資格更新研修の対象者や具体的違反事例などについて質問があり、市場の信頼性を高めることが重要であるとの意見が出された。

・ 市場の透明性

プレゼンター 韓国証券業協会

コメンテーター 中国証券業協会

韓国におけるアジア通貨危機の発生と市場の透明性向上に向けた対応及び今後の課題についてプレゼンテーションが行われた。その後、コメンテーターを含めた各国からアジア通貨危機後の市場の透明性向上に向けた動きについて説明された。

・ 国内投資家の育成方法

プレゼンター マレーシア証券会社協会

コメンテーター フィリピン証券業協会

マレーシアの個人投資家は現状 25%程度であるが、現在の証券市場の諸問題と戦略について投資家への周知が必要であるとのプレゼンテーションが行われた。また、個人投資家の各国の状況を把握するため、各国市場の証券口座の概数について情報交換された。最後に、今後、個人投資家を増やし「幸福な投資家 (Happy Investor)」を創出するためには、政府と民間との交流と協力、資本市場のマスタープラン作成、取引コストの引下げなどが重要であるとの意見が出された。

(5) バリ・コミュニケ

仮訳 下記の通り。

【2日目】

(1) 歓迎あいさつ

資本市場管理庁のヘルウィダヤトモ会長から、本日の各スピーカーが紹介され、セミナーが充実したものとなるように期待したいとのあいさつがあった。

(2) 基調講演

ブディオノ蔵大臣は グローバル化した経済においては変化に対応できる資本市場を作り上げることが重要であり、経済の回復力を向上させるために金融市場を拡大することがインドネシア政府の重要な施策となっていること、及び現在取り組んでいる諸政策について話した。

(3) セミナー

・ 「インドネシアの政策と治安」

スピーカー サリム局長 (国防省 政策治安担当)

・ 「インドネシアの民営化」

スピーカー ラクサマナ国営企業大臣

- ・ 「2004 年のインドネシア経済展望」
スピーカー チャティブ・アスリ氏（インドネシア大学 経済オブザーバー）
- ・ 「2004 年の国際投資展望」
スピーカー スペンサー・ホワイト氏
（メリルリンチ証券 チーフ・エクイティ・ストラテジスト）
- ・ 「アジアへの投資」
スピーカー ジム・ロジャース氏
（クオンタム・ファンド共同創設者、
「ジム・ロジャース世界を行く」「冒険資本家」の著者）

7. その他

次回、第 10 回アジア証券人フォーラムは、来年、日本証券業協会の主催で、日本で開催されることが決定した。

以上

(参考)

——— バリ・コミュニケ ———

パリで開催された第9回アジア証券人フォーラムの代表団である我々は、この地域の資本市場におけるいくつかの最近の重要な問題について、十分に議論を行った結果、世界の資本市場、特にアジア太平洋地域の資本市場の発展と改善のために、次の通り宣言することで合意した。

- ・ 投資家保護は、資本市場の発展にとって大変重要であり、コンプライアンスと社内管理について証券会社は最大の関心を払うべきである。
- ・ 資本市場に投資する場合、投資家がそのリスクを認識できるような投資教育を資本市場のプレーヤーに提供すべきである。
- ・ 証券会社経営は、IOSCO の勧告を踏まえた各国の規制者が行う政策に沿って、慎重かつ効率的に行われるべきである。
- ・ 証券取引委員会や自主規制機関は、いつもすぐれたコーポレート・ガバナンスを推し進め、実行すべきである。
- ・ 各国/地域の政府は、現地の証券業協会との協力を強化し、資本市場関係の業界育成を推進すべきである。
- ・ アジア証券人フォーラムのメンバーは、地域資本市場の発展のために、メンバー各国/地域間の地域協力を一層進めるべきである。

パリ 2004 年 1 月 29 日
第9回アジア証券人フォーラム代表団

中国証券業協会
インドネシア証券会社協会
日本証券業協会
韓国証券業協会
マレーシア証券会社協会
フィリピン証券業協会
台湾証券業協会
タイ証券会社協会